

レカネマブの治療を開始しました

レカネマブは、アルツハイマー病を治療する新薬です

アルツハイマー病は、脳に「アミロイドβ」というタンパク質が蓄積されることで発症すると考えられています。レカネマブは、脳にたまった「アミロイドβ」を減らすことで「アルツハイマー病による軽度認知障害（MCI）または軽度の認知症の進行抑制」を効果・効果とする治療薬です。認知機能が改善する治療薬ではないことをご理解下さい。

レカネマブの治療対象者は、アルツハイマー病による軽度認知障害（MCI）または軽度の認知症の方となります。

治療法

- ・2週間に1回通院し、1時間ほどの点滴治療を18か月間行います。
- ・その間、認知機能検査と頭部画像検査を行い経過を確認させていただきます。

治療に必要な検査

- ・認知機能検査
- ・頭部画像検査
- ・アミロイドβ蓄積確認のため、脳脊髄液検査またはPET検査（アミロイドPET）
- ・一般検査（血液検査・心電図等）

その他

- ・レカネマブの治療を受けたい方は、もの忘れ外来を受診し医師にご相談下さい。
- ・既往歴や内服薬によっては、治療が難しいと判断される場合もあります。
また、副作用が現れた場合は、途中で治療を中断もしくは中止することもあります。
- ・レカネマブの治療費は、医療費負担割合に応じた高額療養費制度を利用できます。

問い合わせ先

千葉ろうさい病院 認知症疾患医療センター
TEL：0436-78-0765

